

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話 (243) 0141
14年 1月 20日

全商連・地方別交流会 高橋会長が発言

消費税増税や海外で戦争する国をめざす安倍政権の暴走を許さない新年の出会い早い運動に取り組もうと、十二日前橋で北関東信越ブロックの交流会が開催され、親の役員・共済・婦人・青年の県連役員を中心に新潟県から四十八名が、新潟民商から九名が参加しました。各県から、苦勞しながら民商を強く大きくする活動報告が多数ありました。

高橋会長の発言要旨

新潟民商は、一二月に六名の会員、一〇〇名の読者を拡大、半年間ようやく会員で増勢をつくることになりました。

ひとつめは、記帳義務化に向けた自主記帳の運動です。役員が消費税・国保・記帳の問題を話題にして討論していますが、役員が話すと集中度が違う。もっと強めていきたい。

ふたつめは、会費を滞納している会員も要求があるはず。商売が大変なら民商をやめても何も改善されない、一緒に民商でがんばろうと語りかけ、退会を止まらせる対話に力を入れています。支部役員会・班会では、助け合いの拡大の意味を大切に活動を買きたいと思えます。

三つめに、役員が先頭に立つとともに事務局の配布集金の負担削減など一緒に力をいれた取り組みを強めたいと思います。

青旗開きでは「民商の記帳は、税務署の説明では及びもつかない優れモノ」「支部の若い人たちが育つまで頑張る」「会外では記帳義務化が分からない人がたくさん。外に向けた学習もしていこう」という支部長の決意に励まされています。

新年初日に、三名一度に入会

太平支部

仕事始めの六日、太平支部のYさんから「一人親方の労災加入で二人入会したいとの電話がありました。午後、Yさんと三人で来所され、労働保険担当とともに応対して労災加入の書類を作成しました。併せて民商にも入会してもらいました。

ところが、Yさんは入会希望者がもう一人いる、と言います。自分が代理で判子を預かってきたからと、さらに入会申込書に記入。入会者は一度に三名となりました。この方は労災には他団体で加入済みですが、四月以降は新潟民商の労働保険事務組合に加入したいとのことでした。

同日夕方、来所した高橋会長は新年早々の一気入会に大喜び。全商連の会議で発言、報告するからと、やはり「紹介者との信頼関係や仲間の輪がいざというとき力を発揮する」との感想を語っていました。

国保料値上げは消費税増税

とダブルパンチだ!

・国保運営協議会委員へ要請訪問活動・

新潟市が二〇一四年・一五年度の国保料を一人当たり一一・七%もの値上げを計画している中、「新潟市の国保をよくする会」は九日・一〇日と要請訪問活動をしました。民商からは、高橋会長、野上・高橋副会長、事務局佐藤の四名が参加し、「値上げはとんでもない。引き下げをしてほしい」と、委員一八名中十一名(民商関係分)に要請・対話しました。

そこでは「趣旨は分かった。値上げしないよう意見書を出す」「消費税の増税もありますから、これ以上の値上げは無理だと思います」「みなさんのお気持ちはよく分かりました」などの反応もある中、「市の財政とのバランスもある」「市の考えもあるので、値上げ幅を考えた」「上げないわけにもいかないでしょう」などの意見も出されました。

各委員は、この要請内容も含め十五日の協議会で議論すると答えました。

強大な民商建設で安倍暴走政権をストップさせよう

確定申告班会開かれる 白根支部

白根支部は農家の方や兼業農家の方が大勢います。ここでパソコンで記帳をしたいと農家を中心に班会を開いています。白色と青色申告の違いや、専従者給与、農家独特の科目や経費などそれぞれの記帳や入力の方をやり方を交流しています。

十二月二十五日に開いた班会では、四人が参加。仕入れの話から「どこの肥料がいい」とか「除草剤はどのメーカーがいいのか、どこのが安い」とかなど帳面を脇に置いて交流が始まりました。

「パソコンでやると減価償却が簡単にできていいよ」新入会員に教えるベテラン会員など楽しい班会となりました。

「税金のことでこんなに気軽に相談しあったり、勉強できるところがなかなかない。もっと知り合いに民商をすすめてよ」と拡大の話も。次回は決算と申告書の完成を目指します。

税金の滞納に負けない

納税の猶予の学習会に4名が参加

税金の滞納者が増えていますが、昨年、「年末月末までに払え！払わないと差押えだ！」と言って、これまで約束通り納付していたにも関わらず、国税局の職員が強硬に言い張る事例がいくつもありました。そこで、年末に納税の猶予の申請をした人が集まって、今後の調査をどのようにうけるか学習し交流しました。

申請を受け付けない！

「民商が電話すると受け付けないのはどうしてなのよだ！」

納税の猶予の申請は納税者の権利、受け付けてくれない、民商で交渉したらガラツと態度が変わって受け付けた。これから「納付能力調査」「担保が求められたらどう対応するか」など、学習・交流しました。帳面が十分でも、自分なりの計算をしめして納税の猶予を勝ち取ろうと話していました。

女池支部新年会！

一月十一日（金）山潟支部の新入会員のお店「籠」を会場にして女池支部で新年会を開催し、六名が参加しました。はじめに島田支部長から「今年も一年健康で商売と民商運動を頑張ろう！」と新年の挨拶のあと乾杯が行われました。新年会では「二〇一四年一月から、白色申告者にも記帳が義務化されて不安だ」との声が出され、支部でも早く班会や学習会をやるうと話されました。

また、美味しい料理を沢山いただき、出席者全員和気あいあいとした雰囲気の中なか大変盛り上がりました。



民商の運動実る！四月から受付

新年度も住宅リフォーム助成制度継続決まる

増改築に対する助成をする市健幸すまいリフォーム助成が二年間実施され、市民から大好評、建設関連業者は仕事確保に大きな力を発揮しました。

新潟市は、経済対策として6億円の予算で「健幸すまいリフォーム支援事業」（3億8,700万円）「エコ住宅・エコリフォーム促進事業」（2億1,300万円）を新年度も実施します。

予算は2月補正で計上するため、4月から受付が出来ます。いまから仕事確保のセールスで活用しましょう。